

クラス番号	915	ゼミタイプ	サービslラーニング型 (NPO)
		担当教員名	菊池 遼
テーマ	知多半島の NPO で学ぶ市民参画		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

授業の目的について語る前に、サービslラーニングの本来的な意味を解説しましょう。サービslラーニングという言葉は 1960 年代にアメリカで初めて生まれました。この時代のアメリカは人種差別やベトナム反戦運動があり、アメリカ国内の社会的な分断が高まった時期にありました。そこで、地域に対して貢献活動を行いながら、多様な価値観を学ぶ手段としてサービslラーニングは始まったのです。1970・80 年代にはアメリカ国内の若者に社会に対する不信から無気力感が蔓延した時期に突入しました。このとき、若者も市民のうち 1 人であり、社会の構成員であることを認識する手段としてのサービslラーニングといった意味合いが付け加えられました。これを「市民性の涵養」ないし「シティズンシップの育成」と呼びます。

日本でも現役大学生を含めた若者達は無気力感があるのではないのでしょうか。それは、日本社会に様々な社会課題があるにも関わらず、解決の糸口が見えない閉塞感が起因するものではないのでしょうか。そのような状況にあっても、平均寿命が 80 歳を超えた現代において、若者達はこの先、数十年はこの社会で暮らさなければならぬし、人間は社会の中で生きていくしかないのです。

こういふと大袈裟に聞こえるかもしれませんが。サービslラーニングはすべての問題を解決できるものでもありません。ただ、小さなことから課題解決や地域貢献活動を行い、小さなことでもいいので NPO の活動に参加しながら、少しずつ社会を良くしていきましょう。

授業計画：

- 4・5 月 NPO や現地の課題・ニーズを知る
- 6・7 月 地域貢献活動の計画を練る
- 8・9 月 NPO での地域貢献活動
- 10・11 月 活動の振り返りと報告会
- 12・1 月 グループ研究

担当教員からのメッセージ



私は東日本大震災後が発生した時に現役の大学生でした。そこからボランティアとして被災地に入り、多くの NPO で活動する人々と出会いました。彼らが活躍する姿を見ながら「これからは NPO の人たちが活躍する時代なんだ！」という直感が生まれ、大学院に入って NPO の研究をするようになりました。実際には NPO が活躍する時代はもっと前から始まっていたのですが（笑）、僕が気付いたのが二十歳ぐらいの時だったのです。これから 2 年生になる皆さんもそのときの僕と同じ世代ですね。サービslラーニングを通して、NPO が活躍する社会を実感してみましよう！